



No.42 (2013.5)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

新任副院長・院長補佐あいさつ

副院長 宮崎 招久

順天堂大学練馬病院は開院して8年目を迎えております。この間地域の皆さまに愛される病院を目指して努力してまいりました。

私は2年間院長補佐として、病院の医療保険分野を担当し、また3月に行われた電子カルテの入れ替えにも努めてまいりました。

今後も児島邦明院長、野沢雅彦副院長のもと、病院職員が一丸となり、地域の病院や診療所との連携をとりながら、皆さまにより一層愛される病院になるために努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



副院長
消化器内科
教授 宮崎 招久

院長補佐 住吉 正孝

本年4月1日より順天堂大学練馬病院の院長補佐を拝命いたしました。

私は順天堂医院、順天堂大学静岡病院、そして順天堂大学練馬病院で研修医や学生の指導・教育に従事してまいりました。

ここ順天堂大学練馬病院でも臨床研修医を含め多くの若い医師が働いています。また、大学の附属病院として多くの医学生(医者の卵)が勉強に来ています。私の使命は、これらの若い医療人たちを教育して、次世代の順天堂を担う良医・名医に育てることにより、練馬区を中心とした地域医療に貢献することであると考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



院長補佐
循環器内科
教授 住吉 正孝

新任科長紹介

4月より、血液内科に科長として赴任いたしました佐藤恵理子です。

4年前にも勤務しておりましたが、当院は、血液内科以外の科とも病理診断科や臨床検査科などとも連携が密にとれる温かな病院です。

当科は、白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの病気が専門ですが、それ以外の合併症のある方にも他科と協力して、大学の附属病院ならではの高度で、地域病院ならではの細やかな医療を心がけていきます。初診外来では、白血球が少ない、貧血であるというような患者さんも診察しています。かかりつけの医療機関より当院の医療連携室へご連絡ください。



血液内科 准教授
佐藤 恵理子

このたび、乳腺外科の科長に就任いたしました北畠俊顕と申します。

乳腺外科は、乳がんの治療はもとより、良性疾患や検診の精密検査まで広く診療いたします。乳がんにおいては、患者さんを中心とし、医師、看護師、放射線技師、薬剤師、臨床心理士などが一体となったチーム医療を実践し、受診・診断・治療・経過をご不安なく送れるように努めたいと思います。乳房のしこり、痛み、分泌液が出るなど、気になる症状でお困りの方はどうぞお気軽にご相談ください。



乳腺外科 准教授
北畠 俊顕

このたび、4月より順天堂練馬病院皮膚・アレルギー科科長を務めさせていただくことになりました舟串直子と申します。

開院以来科長をされていた比留間政太郎教授が3月で定年退職され、常勤医師も3名となりました関係が大変混雑が予想されます。また、できるだけ病状が落ち着かれたら近隣の先生方にお任せしたいと考えています。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

今後ともアトピー性皮膚炎、乾癬、白斑、皮膚腫瘍などの皮膚疾患の患者さんのニーズに沿った適切な診療を心掛けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



皮膚・アレルギー科
准教授
舟串 直子

このたび、耳鼻咽喉・頭頸科に赴任いたしました飯塚崇と申します。

耳鼻咽喉・頭頸科では耳、鼻、のどの病気として、中耳炎、めまい、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎（蓄膿症）、扁桃炎、声帯ポリープなどの病気を診療しています。正確な診断と適切な治療をご提供できるよう努めてまいります。

練馬は私の生まれ育った地であり、地元に貢献できるよう誠心誠意診療にあたります。耳だれ、難聴、耳鳴、めまい、鼻水、鼻づまり、のどの痛み・違和感などの症状でお困りの際にはどうぞお気軽にご相談ください。



耳鼻咽喉・頭頸科
助教
飯塚 崇

平成25年度初期臨床研修医 29名が4月より研修開始しました!

平成25年4月より全国から選抜された
初期臨床研修医29名が、医師としての第一歩をスタートしました。
順天堂大学練馬病院では、第6期生となります。
医師にとって患者さんが先生です。
地域で、病院で、患者さんとともに良医を育てていきます。
皆さまには、厳しくも温かい目で育てていただけますよう
お願い申し上げます。



2年目のシニア臨床研修医が
総合診療・性差科の外来を担当いたします。

- *臨床研修医の外来診療は、指導医の指導のもとに行います。
- *臨床研修医の診察を希望されない方は、遠慮なくお申し出ください。
- *臨床研修医教育のためのご寄付にご協力をお願いいたします。詳しくは総合案内まで。

看護部からのメッセージ

戴帽式（たいぼうしき）をご存知ですか？

看護師を目指す学生たちが、初めての病院実習に臨む前に、ナースキャップをいただく儀式を戴帽式と言います。最近では、キャップなしのセレモニーが増えています。当院では、職業に対する意識を高め、また、その責任の重さを自覚させるための大切な儀式の一つとなっています。

手術室でのキャップ交換式を行いました！

本年2月、6名の新人看護師を迎えた手術室で、キャップ交換式を行いました。手術室では新人看護師は「青いキャップ」を、先輩看護師は「白いキャップ」を着用しています。

早いもので、入職から一年が経ち、様々な手術の介助を経験しながら知識と技術の習得に努めている新人看護師のこれまでの頑張りを表彰するとともに、2年目看護師としてさらにステップアップできるように「白いキャップ」へのキャップ交換式を実施しました。



先輩から「努力賞」の表彰がありました！
とってもうれしいです！
4月から、後輩に指導がしっかりできるよう
気を引き締めて頑張ります。



在宅看護専門看護師の第一期生が 順天堂大学練馬病院から誕生！

医療支援センター 看護相談室 宮本千恵美

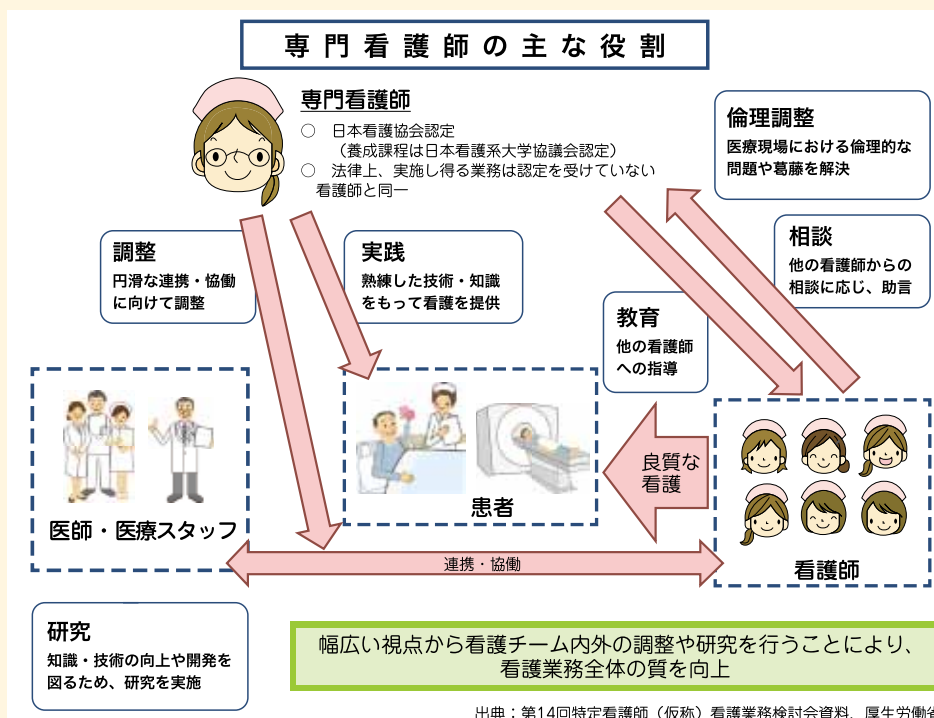
専門看護師とは、日本看護協会の専門看護師認定審査に合格した人に与えられる看護師の職名です。複雑で解決困難な看護問題を持つ方々に対して、水準の高い看護ケアを提供できるよう、専門分野ごとに認定されています。



師長 宮本千恵美

在宅看護専門看護師は、平成 24 年 12 月に認定されたばかりの新しい資格です。まだ全国で6名だけですが、在宅で療養する方とご家族が安心して療養生活を続けられるよう支援し、保健医療福祉や看護学の水準を高めるために貢献してまいります。

現在、医療支援センターで看護相談を担当し、退院後の療養生活についてどこでどのように過ごすのかご本人ご家族と共に考え、地域の社会資源等も紹介し、地域の人々との連携を図っています。



レディースフロアのご紹介

入院病棟の4階は、産科病棟、小児病棟と、女性患者さんだけのレディースフロアからなります。

婦人科や乳腺外科の患者さん、内科・外科・救急など診療科を問わず、男性患者さんのいない、女性の患者さんだけの病棟です。

廊下には名誉院長、院長はじめ、各科担当医師の日本や世界各地で撮影した、美しい写真で彩られ、女性フロアならではのエレガントな雰囲気があります。

屋上庭園に直結し、春の花々やバラの花(レオナルド・ダ・ヴィンチ)の美しい香りに包まれた病棟です。

少しでも入院患者さんの心や体の癒しにお役に立てれば幸いです。



順天堂醫院の歴史

ニコライ堂の塔から写した湯島・本郷台

写真は、明治20年代にお茶の水のニコライ堂（東京復活大聖堂）が建設されていたとき、塔の足場から東京を360度に渡って撮影した写真の一枚である。手前には、駿河台の町があり、本郷台に左手から順天堂、東京女子高等師範学校（お茶の水女子大学の前身）があり、湯島聖堂へと続く。東京女子高等師範学校（現在の東京医科歯科大学キャンパス）は塀で囲まれており、外堀通りが「くの字」に曲がったところから先が順天堂である。

その頃は、東京女子高等師範学校と順天堂の間がメイン通りで、順天堂の門はそれに面していた。



ニコライ堂



外堀

東京女子高等師範学校



順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

電子カルテが新しくなりました！

平成25年3月8日(金)夕方より10日(日)にかけて、電子カルテを入れ替え、バージョンアップいたしました。そのため3月8日(金)夕方より10日(日)朝8時までには電子カルテを使用できず、患者さんにはご迷惑をおかけいたしました。おかげさまで大きな問題もなく電子カルテ入れ替えを行うことができました。

今まで電子カルテは1台のモニターでしたが、入れ替え後は各外来に2台のモニターが配備されました。電子カルテの入れ替えに付随し、再来受付機や会計精算機もリニューアルされました。



電子カルテ
リプレイスプロジェクト
統括責任者 宮崎昭久



診察室の電子カルテ



再来受付機



会計精算機

電子カルテ入れ替えに伴い、待ち時間が少しでも短くなり、皆さまにこれまで以上に信頼され、愛される病院を目指し、努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



ご来院される皆さまが、少しでも季節感を感じていただけるよう
今年も五月人形と鯉のぼり、武者のぼりを飾りました。

